

頭陀袋

68

平成三十年二月号

発行 中山かんのん

恩 林 寺



中山中学下、電話三四一―二四五

あした みたち き ゆうべ し か
朝に道を聞かば夕に死すとも可なり

(論語より)

「社長になって、この会社を優良会社に育て自分の銅像を会社の正門に建てるぞ。」と、言う新入社員がいればそれはそれで立派な事である。「山に入って山小屋の小さいのを建てて、山男として生活する。山を離れて人生なんて考えられない。」という若者がいればそれはそれで素晴らしい。

どちらの若者の人生にしてもその本質においては人間性を豊かにしてゆくことを目標にしなければ、ガリガリのつまらない人生になってしまう。人生は誠心誠意の中にある。周りの人達の幸せのために自分の全力を尽くしていく。どうしてもわからないときは道を聞いて学ぶことだ。

「朝に道を聞かば夕に死すとも可なり。」人間として思いやりの豊かな無心、無欲の人生を生きるならばこれに勝る宝はない。

私の手元に一本の掛け軸があります。それはわたしの先生であった表千家流林千代子先生の遺品であり、「朝に道を聞かば夕に死すとも可なり」としたためられております。



これは高山東山、宗猷寺十世南齋なんしやう和尚の書であります。南齋和尚は播隆上人より早く笠ヶ岳を開いた方であり、隸書の達人であります。

す。若い時はなかなか林先生のご意向に沿える事もなく過ぎてきたことを申し訳なく思うとともに、時々床に懸けては先生の遺言と感ずるこの頃です。

平成三十年前半行事予定

三月十八日 春の彼岸会、涅槃会
五 月初旬 萬福寺本山参拝旅行
七 月一日 施餓鬼法要

具体的な計画につきましては後日ご案内いたします。

参考

三佛会（さんぶつえ）とは

お釈迦様の一生のうちつぎの三つをまとめ、三佛会と申します。（いずれも旧暦）

一、お釈迦様のお生まれになった日

（四月八日）降誕会といひます。

二、お釈迦様のお悟りになった日

（。十二月八日）成道会といひます。

三、お釈迦様の亡くなられた日

（二月十五日）涅槃会といひます。

二月は当地はまだ寒いので三月のお彼岸まで伸ばして勤める場合が多いのです。